

「なぜなぜ分析」はもういらぬ

基礎技術  
研修  
セミナー

# 「不良ゼロ」への 具体的なアプローチ

≡≡≡ 今まで悩まされていた慢性不良を短期間で確実にゼロにできる新手法 ≡≡≡

不良がゼロにならないのは、原因と対策がわからないからです。本セミナーでは、**不良の要因を71**と定義し、それに対する**54の対策**をお教えます。それにより、「なぜなぜ分析」は不要になります。

また、不良を発生させる異物、設備、作業に対する具体的なアプローチも紹介します。各アプローチでは、不良の要因と対策、実施ステップが明示され、ステップをたどっていくことにより論理的思考が身に付けられるようになっていきます。

更に、改善活動が継続できないと悩んでいる方のためにやる気の高揚と維持の方法、理想の監督者の育成方法も紹介します。

本アプローチは、講師の27年間のコンサルティングの経験則によって生み出されたものであり、現在の実際のコンサルティングで使い、磨き上げられているものです。

本セミナーを受け、ぜひ不良ゼロの世界を味わって下さい。

## このような方にオススメです

- ・従来の手法に限界を感じている方
- ・不良はゼロにならないとあきらめている方
- ・「なぜなぜ分析」がうまくいかないと悩んでいる方
- ・改善活動が継続できないと悩んでいる方
- ・生産管理に関わる方



※本セミナーを受講される方には、受講者特典として講師著書『ポカミス「ゼロ」徹底対策ガイド モラルアップとAIですぐできる、すぐ変わる』（日刊工業新聞社）を、セミナー当日、無料進呈させていただきます。

- ◎日時 2019年7月22日(月) 10:00~17:00(昼食付)
- ◎会場 日刊工業新聞社名古屋支社 6階セミナー会場
- ◎主催 日刊工業新聞社

## 【科目と講師】

### 【講師】

株式会社ロンド・アプリウェアサービス

### 中崎 勝氏

【略歴】 1981年、ブリヂストンに入社。設備設計と保全業務に従事。1987年に日本DECに移籍し、システム及びAIの開発に従事。1992年、ロンド・アプリウェアサービスを設立し、製造業を中心としたコンサルティングで多くの成果を上げる。不良ゼロを可能にする実践アプローチにもとづく指導方法に定評があり、国内メーカーに加え、海外メーカーなどでも大きな改善効果をもたらしている。また、技術セミナーも幅広く実施しており、具体的な要因分析にもとづく、かつ具体例を提示するプログラムで好評を得ている。

#### 1. 不良ゼロの9原則

- ・原則-1: 不良は結果
- ・原則-2: 不良の要因は71
- ・原則-3: 対策は54
- ・原則-4: 改善ツールは10
- ・原則-5: 要素別改善: 不良の原因がわからなくても対策はできる
- ・原則-6: データ分析: QCツールの弱点を克服する
- ・原則-7: 発生工程の見つけ方: 異物不良とキズ対策
- ・原則-8: 現物・現場: 要因から原因を突き止める
- ・原則-9: 現象の連鎖: 普段悩まされている不良の発生メカニズム
- ・不良ゼロの9原則を知れば、もう「なぜなぜ分析」はいらぬ
- ・不良ゼロへのアプローチ

#### 2. 異物ゼロへのアプローチ

- ・異物は感性
- ・異物不良発生のメカニズム
- ・異物の正体: 物性、大きさ、形、色で認識
- ・13の発生源への対策で根源を立つ
- ・5つの伝達経路対策で経路を遮断する
- ・清掃は最強のツール: 効果的効率的清掃の仕方

#### 3. 原則整備へのアプローチ(ショートバージョン)

- ・設備起因の不良の原因は20の原則の崩れ

#### 4. ポカミスへのアプローチ

- ・ポカミスの20の要因
- ・人の改善に対する方程式: 20の対策
- ・知らなかった対策  
NG/OKシートでポカミスの80%はなくなる
- ・ルールを守らせるには  
標準整備→ビデオ標準  
教育・訓練のしくみづくり→戦略的人材育成
- ・うっかり対策: うっかりは人の性  
作業者思いのうっかり対策
- ・AIによるポカミス対策: 検査、入力、判断ミス
- ・ポカミス対策の進め方

#### 5. キズゼロへのアプローチ

- ・キズは結果
- ・個別対策と総合対策

#### 6. モラルアップへのアプローチ

- 職場の活性化、改善活動の成功と継続 —
- ・モラルとは、やる気、貢献意欲、チャレンジ精神
- ・日本人のモラルは低い?
- ・モラルに関する5原則
- ・小集団活動を活用したモラルマネジメント
- ・尊敬される上司になる
- ・人は環境の生き物

◀ 申込等は裏面に ▶

## 自治体等の助成金について

以下の市内の中小企業（製造業）の方は各種補助金事業等の対象となる場合があります。詳しくはセミナー申し込み前に各担当部署にご確認ください。

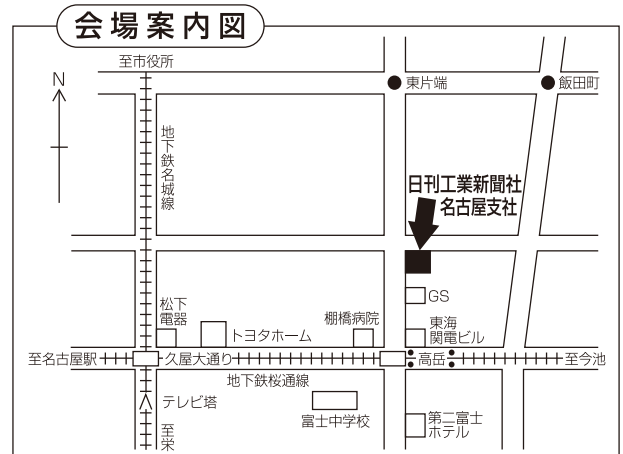
自治体	補助金名	TEL	担当部署
1 愛知県 豊田市	中小企業人材育成事業補助金	0565-47-1250	ものづくり産業振興課
2 〃 安城市	がんばる中小企業応援事業補助金	0566-93-3341	産業振興部商工課
3 岐阜県 下呂市	下呂市事業所人材育成支援事業	0576-24-2222	観光商工部商工課
4 三重県 津市	中小企業振興事業補助金	059-236-3355	商工観光部経営支援課
5 富山県 氷見市	技術研修等派遣助成金	0766-74-8105	商工観光課
6 長野県 茅野市	中小企業人材育成等支援事業補助金	0266-72-2101	商工課
7 〃 長野市	長野市ものづくり産業中小企業者等人材育成事業補助金	026-224-6751	商工労働課
8 福島県 二本松市	二本松市事業所等人材育成補助金	0243-55-5121	商工課企業誘致係
9 〃 喜多方市	喜多方市組合団体等事業育成補助金	0241-24-5247	産業部商工課
10 岡山県 玉野市	中小企業ステップアップ支援事業	0863-33-5005	商工観光課

## 開 催 要 項

- 定 員 42名
  - 受 講 料 43,200円（消費税・テキスト代・昼食代を含む）  
\*複数人数同時にお申し込みの場合2人目から38,880円  
日本金型工業会、中部プラスチックス連合会の正会員の  
方は15%割引とさせていただきます。  
但し割引対象が重なる場合は、どちらか一つの割引を適用させていただきます。
  - 申 込 方 法 申込書を郵送又はFAXにて下記にお申込下さい。  
ホームページからお申し込みできます。  
受講料は銀行振込で受講票及び請求書が到着次第、開催日1週間前までにお支払い下さい。  
なお、キャンセルにつきましては開催日1週間前までの受け付けとさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。振込手数料は貴社でご負担願います。
  - 申 込 先 日刊工業新聞社名古屋支社 イベントG  
〒461-0001 名古屋市東区泉2-21-28  
TEL.052(931)6158(直通) FAX.052(931)6159  
メールアドレス: nk-event@media.nikkan.co.jp  
ホームページアドレス: http://corp.nikkan.co.jp/seminars/search
  - 銀行振込先 三菱UFJ銀行栄町支店  
普通預金 247021 (株)日刊工業新聞社名古屋支社
- ※会場には受講者用の駐車場がありません。必ず最寄りの公共交通機関でご来場ください。なお、当日の録音・録画は固くおことわり申し上げます。

## 会場までのご案内

日刊工業新聞社名古屋支社 交通案内  
名古屋市東区泉2-21-28 名古屋駅から地下鉄桜通線徳重行に乗車。  
TEL.052(931)6158(直通) 4つ目「高岳」下車。①出口より徒歩3分。



お申し込みは **FAX(052-931-6159)** でどうぞ!!

(切 取 線)

## 受講申込書 197540 7/22 「不良ゼロ」への具体的なアプローチ

フリガナ ※会社(工場)名	※電話	※FAX
	E-mail	
※所在地 〒	※主要製品名	
※参加者氏名	※所属部課及び役職名	@¥43,200 *複数人数お申し込みの場合2人目から38,880円
フリガナ		名分
フリガナ		計 円
開催日の1週間前までにお振込みください。 銀行振込( 月 日支払い予定) ※振込手数料は貴社にてご負担下さい。	社内 _____ 部 _____ 課 教育担当者 氏名	
<input type="checkbox"/> 日本金型工業会正会員 <input type="checkbox"/> 中部プラスチックス連合会正会員		

※印の箇所は楷書で必ずご記入下さい。

### 個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。

日刊工業新聞社名古屋支社・イベントG 宛

今後、ご案内を希望しない方は  
右記にチェックして下さい。